

2024年4月8日

R-進学塾の塾生、保護者及び関係者の皆様へ

有限会社 Real
代表取締役 岡林 勇三郎

1 はじめに

2002年に「R-進学塾」を設立してから、当社は塾生の皆様の夢を叶えるため、講師一丸となって、全力で、平等に、最高の合格態勢を提供するように励んで参りました。R-進学塾で使用しているオリジナルのテキストは、塾生に真を理解させる力を付けるため、講師が苦心して、適宜、問題の入れ替え等も行いながら作成しております。

しかし残念ながら、近年、当社の講師であった元従業員（以下「元従業員」といいます。）が独立して進学塾を開設後、当社の他の講師が作成したテキストのデータを無断で持ち出し、表紙のみ差替え、自身の当該進学塾で作成したかのような形で改変・使用して事業を行っている事態（以下、「本件」といいます。）が発覚しております。

当社の内部でも、本件をこのような形で公表することに議論はありましたが、既に当社の塾生からも本件に関する質問や指摘を受けることが度々あり、塾生や保護者、関係者の方々にご心配やご不安をお掛けしていることと思ひますし、混乱を收拾する必要もありますので、この度、本件の経緯等について公表させていただくことといたしました。

塾生の皆様には、本件を心配することなく、塾生みんなが合格をつかむことを目標としていただきたいと考えております。また、講師一丸となって、全力で、平等に、最高の合格態勢を提供するように励んで参りたいと考えております。

2 本件の経緯

(1) 元従業員の退職の経緯

元従業員の退職に際し、当社代表者から、「ご自身が作成したデータは自由に使用して構わないものの、他の講師が作成したデータは退職にあたって持ち出さないで欲しい。」といった要望を伝えたところ、元従業員は、「自分のデータすらまだ持ち出してはいない。」といったことを明言しておりました。また、そういった持ち出しを行わない旨を記載した誓約書への署名・押印に内諾しておりました。

しかしながら、元従業員はその後入社せず、誓約書への署名・押印には至りませんでした。

(2) 当社の問題集の無断流用の発覚

その後、元従業員が進学塾を開設したといった話を耳にしました。ほどなくして、当社の塾生から当該進学塾で当社と全く同じ内容のテキストを使っているといった話を聞くよう

になりました。

元従業員のことは信頼しておりましたし、退職にあたっては、社内データを持ち出していないと明言しておりましたので、そのような無断の持ち出しや無断使用がなされている事態は信じがたいものでした。

しかしながら、実際に当該進学塾で使用しているテキストの提供を受ける機会があり、確認したところ、複数のテキストが当社のテキストと全く同じ設問の並びであったり、当社の問題集をつまみぐいするような形でまとめたものであることが発覚しました。

(3) 本件に関する交渉等

当社としても、信頼していた元従業員に対して強い態度に出ることには相当に葛藤がありました。

しかしながら、このような無断使用は社会の基本的ルールから大きく逸脱しており、作成した講師はもとより、R-進学塾を選んでもくださった皆様、元従業員の開設する進学塾に通っておられる生徒の方々に対しても不誠実なもので、塾業界全体の評判にも悪影響が及びかねないものだと考えるに至りました。

何より相手方である元従業員のためにもなりませんので、弁護士に相談して対応を依頼することを決意しました。

本件については、高知地方裁判所に対して証拠保全の申立てを行い、申立てが認容されております。実際にも、2023年6月21日に証拠保全の手続が行われ、当該進学塾の管理するPC内に当社のテキストに酷似するデータが複数存在することを確認しております。

その後、元従業員にも弁護士が代理人として就任し、代理人間で交渉を重ねて参りました。

交渉の中で、令和5年8月21日付けにて、相手方代理人から、「現状、R-進学塾のものと類似する問題集等は使用しておらず、その予定もない。」といった回答があったため、当社としてできる最大限の譲歩として、2023年9月25日付けにて「今までの無断使用に関しては不問とし、過去の無断使用に関する金銭的賠償も求めないので、今後の当社と酷似するテキストの不使用や保有するテキストのデータの抹消等を誓約し、書面で合意して欲しい。」といった申入れを行いました。

極めて残念ではありますが、そのような申入れすらも相手方代理人からは拒絶されております。

本件はいまだ解決に至っておらず、今後の対応は社内検討中です。

なお、相手方が無断流用しているテキストは、当社の講師が過去問や問題集から、単元内の整合性や重要性に応じて、適宜、問題の取捨選択や並びかえを行って作成したのも多数含まれております。相手方は、このような問題の取捨選択や編集作業も行わず、無断流用

したデータに基づいて、ほぼ労力も掛けることなく何らの対価も支払わず、相当数のテキストを授業で使用しています。このような相手方の行為は、当社の法的権利を侵害している可能性が高いもので、社会通念上も許容されるものではないと考えております。

3 当社としての思い

当社としては、元従業員には過去の無断使用について責任を問わないこととし、今後のテキストの不使用やデータの抹消を求めるという最大限の譲歩をご提案させていただいたつもりですので、このような事態に至っていることが大変残念です。

現状、当該進学塾において実際に R-進学塾のものと類似するテキスト等の使用を停止しているか、当社としては判断が付きかねます。万一、使用が継続されているのであれば、到底放置できない事態であると考えており、速やかに法的措置を行うことを考えております。

上述のとおり、R-進学塾で使用しているオリジナルのテキストは、塾生に真を理解させる力を付けるため、講師が苦心して、適宜、問題の入れ替え等も行いながら作成しております。

しかしながら、授業はそういったテキストのみによってなされるものではありません。当社では、講師それぞれがいかに塾生の持っている能力を効率よく引き出し、学力を向上させられるかを考えながら、自信をもって授業を行っております。

塾生の皆様には、本件を心配することなく、塾生みんなで合格をつかむことを目標としていただきたいと考えております。また、講師一丸となって、全力で、平等に、最高の合格態勢を提供するように励んで参りたいと考えております。

今後とも、どうぞよろしく願いいたします。

以上